
ドアを叩いて

真浦塚真也

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ドアを叩いて

【Nコード】

N1845I

【作者名】

真浦塚真也

【あらすじ】

ドアを叩く男の子のとっても短い詩

いつまでそうしているかなんて、そんなの僕にも分からない。
叩かなくちゃ、やってられない。思いつき叩かなくちゃ、や
ってられりゃしないんだ。

叩いてどうするの？

叩いたからって何か変わるの？

そんな自問自答を繰り返しながら、それでも僕はドアを叩く。
腕も痛くなってきた。拳もゆでダコみたいに真っ赤っか。声も
とくに枯れてしまって、まるで童話のいじわるバアサン。

こんなことをしても無駄なんじゃないの？

本当に願いが叶うと思っっているの？

そんな自問自答を繰り返しながら、それでも僕はドアを叩く。金
切り声を出すだけ出して、僕はドアを叩き続ける。

本当は知ってるんだ。そんなの僕は知っているんだ。

このドアに鍵はかかっていることを。

開けようとすれば、簡単に開けることができることを。

それでも僕はドアを叩き続ける。いつまでもこうして僕はドア
を叩き続ける。

ねえ、誰か。

このドアを開けて。
早く僕を見つけてよ。

（後書き）

御覧頂き有難うございます。 評価・感想など頂けると嬉しい
です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1845i/>

ドアを叩いて

2010年10月28日02時53分発行